

コンサ 検索

ったのか

「原発問題はそれでも最大の争点

だつた——都知事選を終えて」(13)

社会学科助教の白井聰氏は、この国

リポート】『鳥』はブルシェ
ひろの)▼LGB
らに極まれり!?

~24日)

男子▼日米指紋
題その後▼ST
ミンの罪とは何
一部有料です)

NHKの昨年の大河ドラマ「八重の桜」で、タイトルバックの最後に桃色の和傘がたくさん出てきました。あれはうちで手がけた本物の和傘365本なんです。CGではありません。テレビで見たとき、これまでの苦労を思い起こして胸にじんと来ました。

和歌山出身の私が和傘と出会ったのは15年前。まだ新宮市役所の公務員でした。向こうで妻と出会い、京都・西陣にある妻の実家にあいさつに来てみたら、代々続く和傘屋だったんです。

うわっ、きれいだなと驚いたのを覚えてています。放射状の骨組みの構造美。精巧なのにシンプルな外観。過度な装飾を排した「和」の美しさに心動かされました。でも売り上げは年150万円程度。もう無理だ、廃業しかないと実家は決めていました。

戦争直後には全国で年1700万本も出荷されていたのに、高度成長期に洋傘が普及すると激減。和傘の工房は全国で10軒ほど、京都ではうち1軒になっていたのです。「後を継ぎたい」と言つたら反対されました。「こんな古くさいもん、どこがええの」と。でも私には、この美しさには可能性があるという直感がありました。

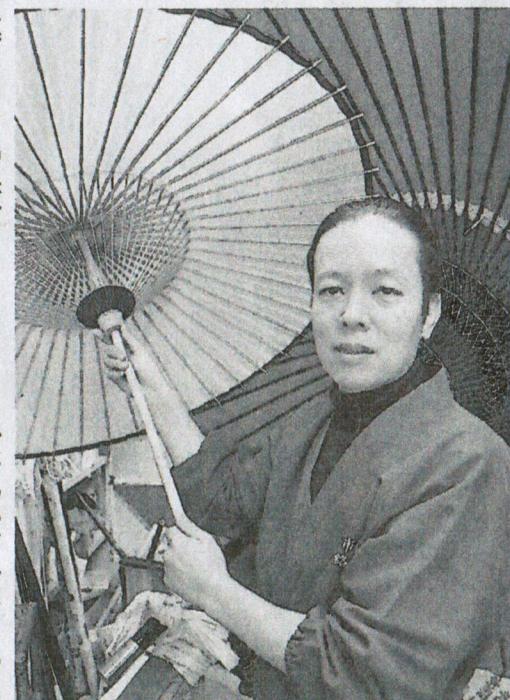
夫婦そろって公務員を辞めるのは冒険でした。でも、ダメで元々。やれる

だけやつてみよう。ちょうどインターネットの初期で、ホームページをつくってみたら番傘が1本売れたんです。東京の舞踊家でした。剣舞に使いうさを探していました。こうやって小さい需要をかき集めれば立て直せるのではないか、と考えたのが第一歩です。でも和傘は長持ちしますから、ほしい人にはそのうち行き渡つてしまつ。「これは使える」と思つてもらえる新しい何かを、和傘の技を生かして作り出す必要があると考えました。

思ついたのが照明です。和傘を作つて天日に干すとき、和紙を透かして届く柔らかな陽光がとてもきれいで、これだ、と。たためる構造なので輸送にも強い。取引先の声を受け、洋空間にも合うスチールの骨組みだけの照明もデザイナーと一緒に開発しました。照明は今では海外15カ国に出荷し、売り上げ全体の4割を占めています。

傘も奈良時代には魔除けの道具でした。便利でおしゃれな今の形で量産が始まつたのは、江戸時代中期。どうすれば時代に適応できるか、職人たちが工夫を重ねてきたわけです。老舗の看板に寄りかかって立ち止まつたら、退が始まる。伝統は革新の連続の上に築かれるものだと考えています。

京和傘「日吉屋」当主

にしほり こうたろう
西堀 耕太郎さん

老舗の流儀 16

74年生まれ。和歌山・新宮市役所職員をへて、江戸時代末期創業の京和傘の老舗「日吉屋」の娘と結婚。和傘職人として修業し、04年から5代目当主。

リレーおびにおん